



Nagasaki University Access Map

長崎大学

長崎大学
リレー講座
2012

長崎大学リレー講座2012 開講にあたって



長崎大学長
片峰 茂

大変革期を迎えて、いま、この国は新時代への産みの苦しみの最中にあります。そして、新しい価値観と次世代人材の創出を担う大学の責任はとてつもなく大きくなっています。キーワードはグローバル。世界をリードし存在感を発揮する学術と人材の創出です。いま世界は何を必要とし、そこで活躍することのできる若者が備えるべき資質とは何か。各界から素晴らしい講師をお招きし、市民の皆さんとともに考えてみたいと思います。



長崎新聞社
代表取締役社長
本村忠廣

リレー講座は早くも3年目を迎えます。長崎大学と手を携えて「知」の地域貢献に参加できることを大変誇らしく思っています。今年も豊かな見識、実行力にあふれた講師陣が今日的で将来につながる内容の講演を予定しており、多くの学生や市民の皆さんに対し、よりよい世界の構築に向けたさまざまな提起ができるのではないかと期待しています。



後援／長崎県・長崎市・長崎市教育委員会・長崎経済同友会・
長崎県経営者協会・長崎商工会議所・(社)長崎青年会議所・
長崎都市経営戦略推進会議・長崎経済研究所・NHK長崎放送局

長崎から グローバルを考える

国際環境が大きく変化するなか、意識の内向き化がさらに進む日本。
グローバルな変化に目をふせ、耳をとざしていたのでは日本の未来はない。

今回のリレー講座は、改めて世界の動きに目を向け、
日本あるいは日本人の今後のあり方を模索しようというものである。
各分野の第一人者による講演、参加者との質疑応答などを通して、
新たな国際交流の拠点として長崎が担うべき役割を考える。



JR長崎駅から 路面電車

1番3番系統「赤迫」行き

「長崎大学前」下車

徒歩すぐ

長崎バス

「長崎駅前」バス停(高架広場下)
1番系統の「時津」「上床」「長与」等

「長崎大学前」下車

徒歩すぐ

※駐車場はありませんので
公共交通機関をご利用ください。

参加無料
会場／長崎大学中部講堂
(文教キャンパス内)

お申し込み・お問い合わせ

お申し込みは長崎大学ホームページへ

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

受付電話番号

TEL.095-819-2007

(長崎大学広報戦略本部)

※受付時間／平日 10:00～17:00

国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

〒852-8521 長崎市文教町1-14



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



長崎新聞社

主催／長崎大学 共催／長崎新聞社

長崎大学リレー講座2012 長崎からグローバルを考える

第1回

10月27日(土)
15:00～16:30

米大統領選と
中国指導部の交代が
日本に与える影響



マイケルグリーン
米戦略国際問題研究所上級副所長

米国家安全保障会議(NSC)のアジア部長、同アジア担当大統領特別補佐官兼上級アジア部長、防衛分析研究所(IDA)研究員、米国防長官室アジア太平洋局上級顧問などを歴任。日本にも5年間の滞在経験がある。



広瀬 訓

長崎大学
核兵器廃絶研究センター副センター長・教授

米戦略国際問題研究所上級副所長兼日本部長。主な研究分野はアジア地域の協力枠組み、日本政治、米国外交政策史、朝鮮半島などで、この夏発表された「アーミテージレポート」にも参画した。米大統領選と中国の指導部交代を控え、日米中関係の行方を展望する。

第2回

11月1日(木)
19:00～20:30

世界で戦うということ
～侍ハードラーからの提言～



為末 大
元プロ陸上選手

「侍ハードラー」の異名で知られる男子400mハードルの日本記録保持者。世界選手権で2度メダルを獲得。2003年にプロに転向。アスリートの社会的自立を支援する一般社団法人を設立するなど幅広く活動。



田井村 明博

長崎大学
環境科学部長・教授

2001年世界選手権の男子400mハードルで銅メダルを獲得。05年大会でも続けてメダルを獲得した。オリンピックにも3大会連続で出場。今年6月、現役生活に終止符を打つまでプロ陸上選手として第一線で戦い続けた為末さんに、世界で戦うことの意味を聞く。

第3回

11月7日(水)
19:00～20:30

グローバル人材育成に
対する期待



北城 恪太郎
日本アイ・ビー・エム相談役・
元経済同友会代表幹事

日本アイ・ビー・エム社長、会長などを歴任。2012年5月から現職。2003年4月から4年間、経済同友会代表幹事を務める。現在、国際基督教大学理事長、文部科学省中央教育審議会委員として教育問題に関わる。



佐久間 正

長崎大学
理事・副学長

変化の激しい時代にどのような人材が求められているのか、大学教育は最先端の分野でどのようにグローバル人材を育成すればよいのか。長年、企業の第一線で活躍し、現在、文部科学省中央教育審議会委員を務める北城さんに、今後の人材育成のあり方を問う。

第4回

11月16日(金)
19:00～20:30

グローバル時代に
求められるもの
～マクドナルドの改革より～



原田 泳幸
日本マクドナルド会長兼社長兼CEO

日本NCR、横河・ヒューレット・パッカードなどを経て、アップルコンピュータジャパン(当時)入社。アップルコンピュータ代表取締役社長を経て、2004年2月、まったく異業種である日本マクドナルドに入社。2005年3月から現職。



嶋野 武志

長崎大学
産学官連携戦略本部副本部長・教授

1店舗当たりの売上高が2011年度まで8期連続で前期を上回った日本マクドナルド。リーマンショックや欧州発の世界経済危機で内需が冷え込む中、国内市場で勝負する同社が成長を続けられた理由は、そのグローバルな視点にある。日本マクドナルドの改革に学ぶ。

第5回

12月5日(水)
19:00～20:30

福島原発事故で
明らかになった
日本的システムの
限界と今後



黒川 清
東京大学名誉教授・
政策研究大学院大学アカデミックフェロー

UCLA医学部内科教授、東京大学医学部第一内科教授、東海大学教授、同医学部長、日本学術会議会長、内閣府総合科学技術会議議員など歴任。2011年12月、国会の東京電力福島原子力発電所事故調査委員会委員長に就任。



河野 茂

長崎大学
理事・病院長

2011年の東日本大震災に伴い発生した福島第一原子力発電所事故。初めて国会が設置した事故調査委員会は、その最終報告書で日本的システムの限界を指摘した。委員長として国会事故調を率いた黒川さんに、日本の現状と今後のあるべき姿を聞く。

第6回

12月19日(水)
19:00～20:30

世界の中で
求められる
新しい日本人像



寺島 実郎
日本総合研究所理事長・多摩大学学長

早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を経て現職。著書に『世界を知る力 日本創生編』(PHP新書)。



片峰 茂

長崎大学
学長

ジャスミン革命を経て世界の構造変化は一段と進んでいる。その一方で、日本の内向き化が懸念されている。ダイナミックな世界の変化に我々はどう立ち向かうべきなのか。寺島さんの時代認識を聞き、世界の中で求められる新しい日本人像を浮き彫りにする。